

## 第二級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間  
無線工学 12問

### 法 規

〔1〕 無線局の無線設備の変更の工事の許可を受けた免許人は、総務省令で定める場合を除き、どのような手続をとった後でなければ、許可に係る無線設備を運用してはならないか。次のうちから選べ。

- 1 当該工事の結果が許可の内容に適合している旨を総務大臣に届け出た後
- 2 総務大臣に運用開始の予定期日を届け出た後
- 3 工事が完了した後、その運用について総務大臣の許可を受けた後
- 4 総務大臣の検査を受け、当該工事の結果が許可の内容に適合していると認められた後

〔2〕 次の記述は、電波の質について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

送信設備に使用する電波の  電波の質は、総務省令で定めるところに適合するものでなければならない。

- 1 周波数の偏差及び安定度等
- 2 周波数の偏差及び幅、高調波の強度等
- 3 周波数の偏差、空中線電力の偏差等
- 4 周波数の偏差及び幅、空中線電力の偏差等

〔3〕 第二級海上特殊無線技士の資格を有する者が、船舶局の25,010kHz以上の周波数の電波を使用する無線電話の国内通信のための通信操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

- 1 5ワット
- 2 10ワット
- 3 50ワット
- 4 100ワット

〔4〕 総務大臣から無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 電波法に違反したとき。
- 2 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
- 3 日本の国籍を有しない者となったとき。
- 4 免許証を失ったとき。

〔5〕 総務大臣が無線局に対して臨時に電波の発射の停止を命ずることができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
- 2 運用の停止を命じた無線局を運用していると認めるとき。
- 3 無線局が免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用していると認めるとき。
- 4 無線局の発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えていると認めるとき。

〔6〕 船舶局の免許状は、掲示を困難とするものを除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 受信装置のある場所の見やすい箇所
- 2 航海船橋の適宜な箇所
- 3 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
- 4 船内の適宜な箇所

## 第二級海上特殊無線技士試験問題

### 法 規

〔7〕 次の記述は、一般通信方法における無線通信の原則について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

無線通信は正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、。

- 1 直ちに訂正しなければならない
- 2 初めから更に送信しなければならない
- 3 適宜に通報の訂正を行わなければならない
- 4 通報の送信後訂正箇所を通知しなければならない

〔8〕 次の記述は、秘密の保護について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、 を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。

- 1 総務省令で定める周波数を使用して行われる無線通信
- 2 特定の相手方に対して行われる無線通信
- 3 特定の相手方に対して暗語により行われる無線通信
- 4 総務省令で定める周波数により行われる暗語を使用する無線通信

〔9〕 船舶局は、他の船舶局から無線設備の機器の調整のための通信を求められたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 緊急通信に次ぐ優先順位をもってこれに応ずる。
- 2 直ちにこれに応ずる。
- 3 支障のない限り、これに応ずる。
- 4 一切の通信を中止して、これに応ずる。

〔10〕 無線電話通信における遭難通信の通報の送信速度は、どのようなものでなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 できるだけ速いもの
- 2 受信者が筆記できる程度のもの
- 3 送信者の技量に応じたもの
- 4 緊急の度合いに応じたもの

〔11〕 次の記述は、無線電話通信における遭難呼出しの方法について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

遭難呼出しは、次に掲げる事項を順次送信して行うものとする。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| (1) メーデー（又は「遭難」） | 3回                   |
| (2) こちらは         | 1回                   |
| (3) 遭難船舶局の呼出名称   | <input type="text"/> |

- 1 1回
- 2 2回
- 3 3回以下
- 4 3回

〔12〕 156.8MHzの周波数の電波を使用することができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 漁業通信を行う場合
- 2 港務に関する通報を送信する場合
- 3 呼出し又は応答を行う場合
- 4 電波の規正に関する通信を行う場合